

広島市歯科医師会だより

一般社団法人広島市歯科医師会

第 120 号

(H29.4.14)

今月のトピックス

お知らせ

節目年齢歯科健診票が変わりました.....1 ページ

行事報告

平成 28 年度 第 2 回 歯周病予防普及啓発事業実行委員会.....2 ページ

平成 28 年度 第 2 回 広島市食育推進会議.....3 ページ

第 11 回 舟入カフェ講演会.....3 ページ

カープ観戦の集い.....4 ページ

4地区歯科医師会関連

地域ケアマネジメント会議事前説明会及び介護認定審査会委員意見交換会.....4 ページ

支部だより

中区支部.....5 ページ

東区支部.....5 ページ

西区支部.....6 ページ

各部からの報告

保険・医療対策部.....6 ページ

地域歯科保健部.....7 ページ

広報部.....10 ページ

FM ちゅーピー.....17 ページ

3 月定例理事会報告.....17 ページ

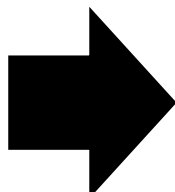
お知らせ

節目年齢歯科健診票が変わりました

検診マニュアルが「歯周病検診マニュアル2015」に改定された為、それに沿った形で節目年齢歯科健診票を平成29年4月より改定されています。

旧節目年齢歯科健診票

The image shows the old dental health check form. It is a complex form with multiple sections. At the top, it says '広島市節目年齢歯科健診票' (Hiroshima City Program Age Dental Health Check Form). Below this, there are fields for patient information (name, address, date of birth, sex, etc.). The main body of the form is divided into several sections, including '歯周病検査' (Periodontal Examination), '歯肉炎検査' (Gingivitis Examination), '歯槽膿漏検査' (Parodontitis Examination), and '歯肉検査' (Gingiva Examination). Each section contains a grid for recording data and checkboxes for various conditions. At the bottom, there are fields for the dentist's name and signature, and a date field.



新節目年齢歯科健診票

The image shows the new dental health check form. It is a more modern and organized form. At the top, it says '広島市節目年齢歯科健診票' (Hiroshima City Program Age Dental Health Check Form). Below this, there are fields for patient information (name, address, date of birth, sex, etc.). The main body of the form is divided into several sections, including '歯周病検査' (Periodontal Examination), '歯肉炎検査' (Gingivitis Examination), '歯槽膿漏検査' (Parodontitis Examination), and '歯肉検査' (Gingiva Examination). Each section contains a grid for recording data and checkboxes for various conditions. At the bottom, there are fields for the dentist's name and signature, and a date field.

4月からの節目年齢歯科健診は新しい健診票にてお願いいたします。

※訂正とお願い

- ・新しい健診票のアンケート部分、設問7のd内蔵型肥満→内臓型肥満

<p>【歯のある方の回答は、「はい」には必要な事項を記入してください】</p> <p>1 歯が抜けたり自然に落ちたことがありますか。 a. はい b. いいえ c. 3歳以上 1歳未満は、1回あたり1本分目がきますか</p> <p>2 歯周病や歯肉炎は定期的に歯科を受診していますか</p> <p>3 過去1年間に歯科補綴を依頼しましたか はい a. はい b. いいえ</p> <p>4 年1回は歯石を歯科医院で除去していますか はい a. はい b. いいえ</p> <p>【10歳の方のみお答えください】</p> <p>5 歯磨き粉や歯垢を歯垢が溜まりにくくおりましたか お茶や牛乳等で歯をすすぐことがありますか 口の乾燥を防いでいますか 口呼吸が気になる場合は、歯科医師や歯科衛生士に相談やケアサービスの相談のために情報提供を受けていますか</p>	<p>5 たばこを吸ったことがありますか a. 吸っています b. 吸っていません c. 吸ったことがありません</p> <p>6 かかしの歯科医歯科補綴師がいますか はい a. はい b. いいえ c. 歯科医 歯科補綴師 歯科クリニック 歯科医 歯科補綴師</p> <p>7 全身の検査を受けていますか a. はい b. いいえ c. はい</p>
--	--

- ・「節目年齢歯科健診票」マニュアル
喪失歯の判定基準の欠損補綴歯 (○) → (△)

喪失歯の判定基準	
要補綴歯(△)	喪失部位に補綴処置がしていないもので、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められるものをいう。
欠損補綴歯(○)	喪失部位に補綴処置がしてあるものをいう。 (注)一部破損していたり、欠損部と著しく異なる義歯は装着していないものとする。
補綴不要歯(x)	智歯等の未萌出歯、先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められないものをいう。

- ・受診者が40歳の場合、健診票2枚目の現在歯・喪失歯の状況の7. 40歳のみの喪失歯の有無に印願います。
- ・医療機関コードの記入は〇〇-〇〇〇〇. 〇とお願いいたします。

<p>自己負担金 無の理由</p> <p><input type="checkbox"/>生活保護世帯(被保護者証明書) <input type="checkbox"/>市民税非課税世帯(市民税課税証明書) <input type="checkbox"/>70歳</p> <p>医療機関コード</p> <p>* * - * * * * *</p>	<p>実施医療機関名</p> <p>所在地 名称 管理者氏名 電話番号</p> <p>2枚目、3枚目に 押印してください。</p>
---	---

行事報告

平成 28 年度 第 2 回 歯周病予防普及啓発事業実行委員会

日時：3月7日(火)午後7時
場所：県歯会館2階「大会議室」

標記の委員会が広島市及び市域の4地区歯科医師会(市歯会・安佐歯会・佐伯歯会・安芸歯会)からなる「8020運動・歯周病予防推進協議会」を実施主体として開催された。まず能美和基委員長の進行により、宮城昌治広島市健康福祉局保健部保健医療課保健指導担当課長から平成28年度歯周病予防普及啓発事業報告がなされ、続いて平成29年度歯周病予防普及啓発事業実施計画(案)について説明がなされた。主に「ビューティフル歯ッション賞」についての協議であった。ビューティフル歯ッション賞は、単に歯が綺麗というだけでなく常日頃よりデンタルフロスや歯間ブラシを継続的に使い、歯周病予防に努めておら

れる方を認定する全国で広島市だけが行っている事業である。

平成28年度のビューティフル歯ッション賞認定者は、前年と比べ微増したものの、目標数に達していない状況です。応募は1年中受け付けていますので、奮っての推薦をお願い致します。



委員会の様子

平成 28 年度 第 2 回 広島市食育推進会議

日時：3月21日(火)午後1時30分

場所：広島市役所本庁舎14階「第7会議室」

標記会議に有馬隆地域歯科保健部理事が出席した。会議では事務局より「平成29年度食育の推進について」、『平成29年度「食育に関する調査」の実施について』などの説明がなされ、これらについての討議が行われた。歯科分野では「嚙ミング30運動の推進」が重点プログラムに掲げられ、関連して10件の食育推進プログラムが実施される。また、「食育に関する調査」については、高齢者の「食」の実態をより詳しく把握するための修正が行われることになった。

続いて、「ひろしま食育ネットワーク連携事業」について、本会と公益社団法人広島消費者協会が報告を行った。有馬理事は本会の6

つの取り組みのうち、特に保育園での食育について資料を配布して説明した。

口腔の健康を通じたヘルスプロモーションの観点から、本会は今後も積極的な取り組みを継続していくことにしている。



広島市食育推進会議ロゴ

第11回 舟入カフェ講演会

日時：3月25日(土)午後2時

場所：エソール広島2階「コロ・ミレー」

平成28年度『認知症カフェモデル事業』として、舟入カフェ主催、広島市江波地域包括支援センター後援の標記講演会が行われ、85名の参加があった。まず第1部前半は、高木はるみ特定非営利活動法人オレンジコモンズ理事、オレンジカフェ上京(かみぎょう)実行委員長が「オレンジカフェ上京の取り組み～地域における認知症の疾病観を変えるために～」と題した基調講演を行い、日本初、京都で開店した認知症カフェの取り組みなどを示した。

認知症高齢者462万人の現在、認知症とはっきり診断されず苦悩を抱える本人・家族の相談できる場として、オレンジカフェ上京が地域に密着して認知症患者の孤立化を防いでいる様子が紹介された。

第1部後半は「認知症カフェの現状と課題」をテーマとしてシンポジウムが行われ、広島市中区で既に開店している認知症カフェ店長

の竹中庸子(NPO法人もちもちの木:もちもちカフェ)、松本由美(吉島病院訪問看護ステーション若葉:よつばカフェ)、福光直美、川崎朋美(特養悠悠タウン江波:えんがわかフェ)、武田雅博(グループホーム舟入:舟入カフェ)がシンポジストとなり、それぞれのカフェの特徴や活動そして課題を紹介した。

本会からは、石川潔氏、小松大造氏、白神葉子氏、細原賢一氏、山野久美子氏が参加した。

その後、第2部として、グループホーム舟入へと移動し「なんでも懇談会」が行われ、介護職、看護師、歯科医師等が集まり、認知症に対し日頃疑問に思っていることや悩みを相談し、それぞれの職種から意見を出し合った。本会としても、増加する認知症患者を支えていくことは急務であり、今回の講演会及び懇談会は大変有意義なものであった。



講演をする高木はるみ氏(左)と講演会の様子(右)

カープ観戦の集い

日時：4月7日(金)午後6時

場所：「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」

マツダスタジアム PARCO パーティベランダにてカープ観戦の集いを開催した。

今回も50名の募集に対し133名のご応募を頂き、厳正なる抽選のもと当選者を決定させていただきました。

試合はドラ1ルーキーの加藤が9回1アウトまでノーヒットノーランの快投。スワローズ相手に見事プロ初先発初勝利をモノにした。

市歯会のカープ観戦の集いとしては初めてのパーティベランダで大いに盛り上がった。

今年は例年以上にカープのチケットが入手困難で、カープ観戦の集いはこの1回のみとなってしまいます。大変申し訳ありません。保険医療対策部ではその他のスポーツ観戦なども企画してまいりますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

4 地区歯科医師会関連

地域ケアマネジメント会議事前説明会及び 介護認定審査会委員意見交換会

日時：3月27日(月)午後7時30分

場所：県歯会館2階「大会議室」

標記説明会及び意見交換会が開催され、広島市域の8区地域包括支援センター運営協議会委員及び経験者と4地区歯会圏域介護認定審査会委員及び経験者を中心に43名が参加した。

まず、荻原和宏広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課課長が平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業において本格実施される、地域ケアマネジメント会議について説明した。当会議は行政、地域包括支援センター職員、専門職を構成員とし、専門的な観点からアセスメント及びケアプランへの助言を行うことで、介護予防ケアマネジメントの質の向上を図ることを目的とする。また、平成28年度に行われた当会議の試行実施の状況についても説明があり、各専門職から指摘された会議運営の課題を改善したことや、会議に参加した専門職からの感想も紹介した。

次に、総合事業における短期集中通所口腔ケアサービスについての説明があり、従来の通所口腔ケア事業からの変更点として、対象者に要支援認定者が含まれること、他のサービスを含めた介護予防サービス計画に基づくこと、サービス担当者会議を経て実施されること等を示した。

最後に、各地区の高齢者人口の推移によって考察された平成29年度以降の会議の実施予測に関する事や、当会議とは別に行われるサービス担当者会議に関する事等活発な質疑応答があった。

広島市域の地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割を確立するよう、4地区歯会間での情報共有、周知徹底を図り当会議に積極的に参画して行くよう参加者で意思統一を行った。



説明を行う荻原和宏地域包括ケア推進課課長（左）と説明会の様子（右）

支部だより

中区支部

第6回 国泰寺圏域多職種連携会議

日時：3月17日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル5階「大会議室」

国泰寺圏域において6回目の多職種連携会議が中区地対協の主催で開催された。この会議には地域包括ケアの推進を目的に、国泰寺圏域の医療、介護、行政他98名が参加した。

宮城昌治中区健康長寿課課長による司会進行の元、竹本元義国泰寺圏域在宅医療推進リーダー医の開会挨拶があった。

まず、「地域包括ケア病棟について知ろう」と題して、江村陽子広島記念病院看護部長の講演があった。

地域包括ケア病棟とは、急性期を経過した患者及び在宅療養を受けている患者の受け入れ、在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟である。いわゆる急性期と在宅の橋渡し役として機能する開放型病棟であると解説した。

続いて、国泰寺圏域の各病院（広島記念病院、広島赤十字・原爆病院、中電病院）における地域包括ケア病棟の紹介として、石光京子広島記念病院地域連携室室長、有馬準一広島赤十字・原爆病院副院長・整形外科部長、河村寛中電病院副院長、西中艶子中電病院医療支援室看護師長から情報提供があった。

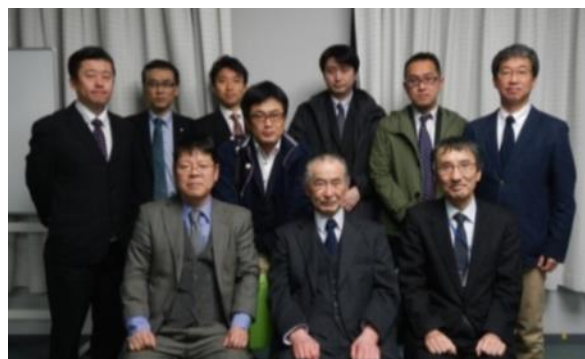
地域包括ケア病棟は、患者本人や家族が望む生活を送るために、病棟内における病診連

携や多職種連携の実現など、今後その機能や活用の周知等が期待される。また、今回はレスパイト(介護休暇目的)入院としての活用例が示された。

その後会場を移し、懇親会があった。

なお、この会議には本会中区支部より荒谷恭史氏、有田一喜氏、香川次郎氏、加藤千季氏、小松大造氏、長崎昭憲氏、波田佳範氏、花岡宏一氏、平田誠氏、門前弘美氏、山野久美子氏、若林大輔氏の12名が参加した。

今後も本支部は地域包括ケアシステムの実現に向け、各圏域における関連職種との連携を深める会議に積極的に参加する予定である。



会議に参加した中区支部会員と
宮城昌治中区健康長寿課課長

東区支部

平成28年度 介護保険研修会

日時：3月24日(金)午後7時

場所：東区総合福祉センター3階「大会議室」

介護保険研修会が標記場所で東区医師会と東区地対協の共催で行われ、東区支部から加藤正昭氏、木村太言氏、竹本美保氏、寺迫環氏、宮地謙氏、山本道直氏が出席した。

永田秀之東区地対協理事の司会で、佐藤修治東区地対協会長と宮迫英樹東区地対協常任理事の挨拶の後、住吉秀隆東区地対協常任理事を座長とし研修会が行われた。先ず、瀬尾芳子東区厚生部健康長寿課課長が「介護予防・日常生活支援総合事業について(平成29年4月開始)」と題して、平成29年4月から

開始される介護予防・日常支援総合事業について、概要、対象者と利用の流れ、広島市の総合事業で実施するサービス内容などを説明した。続いて、落久保裕之広島市域居宅介護支援事業者協議会会長が、「2017年医療と介護の現状」と題して講演を行った。その中で、日本の超高齢社会の現状、医療の課題と介護の課題、連携の統合化が必要であることが話された。

その後、質疑応答が行われ、金谷雄生東区地対協副会長の挨拶で閉会した。



講演をする落久保裕之氏

西区支部

西区支部 3 月例会・併催花見会

日時：3 月 25 日(土)午後 7 時 30 分

場所：ホテルサンルート広島 15 階「吉水」

春の訪れを感じさせる夕暮れに参集した出席者を前に、窪内信男西区副支部長の司会進行で田中亮三西区支部長を議長として西区支部 3 月例会が執り行われた。途中、新入会員の山崎利恵・岡田浩幸両氏の紹介があり、両名より挨拶があった。協議事項では、地対協への出務を現行の「支部長・副支部長」から、より現実に即した「支部長・公衆衛生部委員」という体制に変えてはどうかという意見があり承認された。引き続き花見の宴が始まった。桜の季節にはまだ少し早かったものの、来賓の川原正照市歯会会長より挨拶をいただいた後、前田哲二氏が音頭を取っての乾杯から談笑へと会員相互の絆が深まっていくのであ

た。夜も更けつつある午後 9 時 30 分に田中英樹氏の閉会の辞とともに和やかな雰囲気の中、今年の花見会もお開きとなった。



例会の様子

各部からの報告

保険・医療対策部

国税のクレジットカード納付

平成 29 年 1 月 4 日から、インターネットを利用して、クレジットカードで国税を納付することができるようになりました。対象となる国税は、申告所得税及び復興特別所得税、法人税、消費税及び地方消費税、贈与税、酒税などほぼ全ての税目です。

クレジットカード納付をする場合には、納付する税目や金額のわかるもの（確定申告書など）と、利用するクレジットカードを準備して、「国税クレジットカードお支払サイト」より納付の手続きを行います。金融機関やコンビニエンスストア、税務署の窓口でのクレジットカードによる納付はできません。

なお、税金とは別に、納付税額に応じた決済手数料が必要となりますので注意してください。また、領収証書は発行されないため、領収証書が必要な方は、最寄りの金融機関か所轄の税務署の窓口で納付する必要があります。

地域歯科保健部

平成 28 年度 広島市歯科医師等認知症対応力向上事業 第 3 回研修会

日時：3月4日(土)午後1時30分

場所：「グループホーム舟入」

平成27年に厚生労働省から新オレンジプランが公表され、歯科医療機関は認知症の早期発見における役割が期待されている。そして、「口腔機能の管理を通じて高齢者等と接する中で、認知症の疑いがある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理を適切に行うことを推進しなければならない。」と記されている。

今回、認知症対応力向上の必要性および需要を鑑み、認知症対応力向上に取り組む人材育成を目的に、広島市歯科医師等認知症対応力向上事業 第1回、第2回研修を受講した歯科医師を対象に、認知症対応型共同生活介護施設であるグループホーム舟入において標記実地研修会を開催した。

本会からは石川潔氏、小田正秀氏、岸本一雄氏の3名が参加し、実際にグループホーム

で生活している認知症利用者への問診、健診を行った。健診終了後、自己評価を行い、それぞれの認知症患者に対応した際の反省点や疑問点について施設の職員を交えディスカッションを行った。認知症利用者の問診に対する回答と、実際の能力及び生活状況との間に乖離があった。正確な状態把握のためには施設職員等の介護者からの情報収集も重要であること、認知症の方との接し方がまだまだ未熟であること、知識・経験の必要性、健診ではうまくできたが、これが治療介入となるとさらなる経験が必要である事などの確認ができた。また、活発な意見交換する事もできた非常に有意義な研修会だった。

なお、地域歯科保健部からは小松大造理事、能美和基理事、香川次郎委員長、藤田友昭委員、豊田育星委員が出務した。



実地研修会（左）及びディスカッション（右）の様子

日時：3月11日(土)午後1時30分

場所：「グループホームこうご」

3月4日にグループホーム舟入において開催した標記実地研修会を、参加者、対象者を変え、同様の趣旨にて、今回「グループホームこうご」において開催した。

本会からは天間裕文氏、水内裕之氏、山崎香氏、白神葉子氏の4名が参加し、2人一組になり、当該施設を利用する認知症利用者への問診、口腔内健診を行った。健診終了後、自己評価を行い、それぞれの認知症利用者に対応した際の反省点や疑問点について施設の職員を交えディスカッションを行った。ディスカッションでは、グループホーム等施設の社会的役割、介護度の高い認知症患者への対応への困難さ、協力歯科医院の普段の関わり、今後施設側が歯科医師会に求めることなどの

情報を施設職員からいただいた。また、参加した会員から、認知症対応に関する意見や質問が出る活発なディスカッションであった。

研修後の自己評価では、研修前には認知症の方との接し方に不安をもっていた、実際に現場で認知症の方と接することができて良かった、介護者からの情報の聞き取りの重要性を感じたとの意見が多く見られ、参加者全員が、今回の研修会は、満足と評していた。さらなる認知症対応力向上のため、治療の実際の研修や※ユマニチュード研修などの話題も出ており、今後のさらなる認知症対応能力向上の研修の必要性を実感した、非常に有意義な研修会であった。



ディスカッションの様子（左写真）

※ユマニチュード(Humanitude®)

認知症の人のケアをするためのフランスのイヴ・ジネスト氏によって開発された方法。見る、話しかける、触れる、立つという4つの方法が柱となり、全部で約150もの技術がある。

歯科保健指導用の紙芝居について

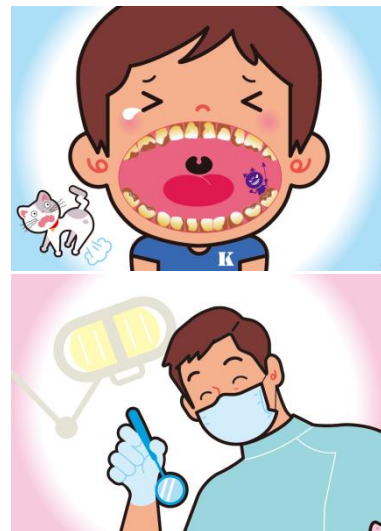
本会が所有する紙芝居をご紹介します。小学校や幼稚園、保育園での歯科保健指導にご活用ください。ご利用にあたっては、事務局に事前のお申込みが必要です。

1. 「わははのおはなし」

本会の地域歯科保健部(旧公衆衛生部)が制作しました。平成26年度に市内の全幼稚園と全保育園、中区、東区、西区、南区の特別支援学級がある市立小学校に寄贈しています。貸出もいたします。内容:主に幼稚園児、保育園児対象。正しい「おやつ」の摂り方、歯みがきのポイント、歯科医院での定期健診の重要性など。デモビデオをYouTubeに掲載しています。

(https://www.youtube.com/watch?v=_At87vKqk30)

「わははのおはなし」より



2. 小学校 歯の保健指導用教材「歯を大切に」1年生

全教出版（一般社団法人 日本学校歯科医会監修）

内容:第1大臼歯に焦点をあてた指導内容です。歯垢染め出し検査にも対応し、単なる講話にとどまらず、「気付かせる」、「考えさせる」指導が可能です。

目次

- | | |
|--|--|
| 1. 口の中を かんさつしよう | 8. むしばと さとう |
| 2. だいいー大きゅうしを みつけよう | 9. おやつは ペットシュガー3本まで |
| 3. えらいぞ！だいいー大きゅうし | 10. さとうは どれくらい 入っている？(1)
～おかしに 入っている さとうの りょう |
| 4. むしばに なりやすい だいいー大きゅうし | 11. さとうは どれくらい 入っている？(2)
～のみものに入っている さとうの りょう |
| 5. じょうずに みがこう だいいー大きゅうし(1)
～そめ出しけんさを やろう | 12. おやつ の くみあわせ |
| 6. じょうずに みがこう だいいー大きゅうし(2)
～どこが そまったかな | 13. おやつ の やくそく |
| 7. じょうずに みがこう だいいー大きゅうし(3)
～だいいー大きゅうしを みがこう | 14. 資料 |

小学校 歯の保健指導用教材「歯を大切に」1年生より



3. 学校 歯の保健指導用教材「歯を大切に」2年生

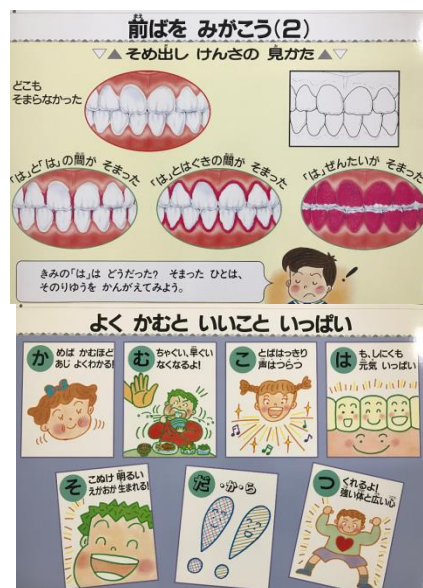
全教出版（一般社団法人 日本学校歯科医会監修）

内容:前歯に焦点をあて、ブラッシングに加えて「よくかむこと」の大切さも教える内容です。1年生用と同様に歯垢染め出し検査にも対応し、単なる講話にとどまらず、「気付かせる」、「考えさせる」指導が可能です。

目次

1. 口の中を かんさつしよう
2. 前ばを しらべてみよう
3. 前ばは はたらきもの
4. むしばを 見つけよう
5. 前ばを みがこう(1)
～そめ出しけんさを やろう
6. 前ばを みがこう(2)
～どこが そまったかな
7. 前ばを みがこう(3)
8. 前ばを みがこう(4)
～かるい 力で みがこう
9. どうぶつのは
10. みんなのすきな食べもの
11. よくかむと おいしくなるものを さがそう
12. よくかむと いいこと いっぱい
13. 3 どの 食じを きちんと とうろう
14. 資料

小学校 歯の保健指導用教材「歯を大切に」2年生より



今月の知っておきたいこと

リンク切れはご容赦を。
記事の確認は自己責任にてリンク先でお願いします。
最新記事はホームページにてご覧ください。

▼第110回歯科医師国家試験の合格発表について

厚生労働省(2017年3月17日)

<http://www.mhlw.go.jp/general/sikaku/successlist/2017/siken02/about.html>

DES歯学教育スクール 第110回国家試験情報

<http://www.desnet.co.jp/topics/>

学校別合格状況掲載

歯科 News & Topics | DENTAL VISION

第110回歯科医師国家試験、合格率65.0、合格者数は昨年に続き2,000人の大台割れ

<http://www.ikeipress.jp/archives/9362>

3月17日、第110回歯科医師国家試験の合否結果が厚生労働省および地方厚生局にて発表された。総出願数は3,691人、総受験者数は3,049人、総合格者数は1,983人で、新卒・既卒合計の全体合格率は65.0%(前回63.6%)と前回より若干上昇したものの、合格者総数は昨年に続き2,000人の大台を割り込んだ。新卒のみの合格率は76.9%(前回72.9%)だった。

大学別では、東京医科歯科大学(94.1%)と東京歯科大学(91.1%)の2校が全体合格率(新卒・既卒合計)で9割を超えた。一方、私立大学5校で全体合格率が5割を切っているほか、新卒で出願者数と受験者数に大きな差のある大学も見られ、全体として昨年までと変わらぬ厳しい結果となった。

歯科国試 合格者数等の推移(カッコ内は新卒者)

回数(施行年)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
107回(平成26年)	3,200(2,241)	2,025(1,642)	63.3(73.3)
108回(27年)	3,138(1,995)	2,003(1,457)	63.8(73.0)
109回(28年)	3,103(1,969)	1,973(1,436)	63.6(72.9)
110回(29年)	3,049(1,855)	1,983(1,426)	65.0(76.9)

第110回歯科医師国家試験 歯科大・歯学部別合格者状況

第110回歯科医師国家試験 歯科大・歯学部別合格者状況

(単位:人、%)

	総 数				新 卒				既 卒			
	出願者	受験者	合格者	合格率	出願者	受験者	合格者	合格率	出願者	受験者	合格者	合格率
北海道大学	53	50	43	86.0	40	38	36	94.7	13	12	7	58.3
東北大学	71	65	51	78.5	51	45	39	86.7	20	20	12	60.0
東京医科歯科大学	51	51	48	94.1	44	44	42	95.5	7	7	6	85.7
新潟大学	64	62	44	71.0	45	45	35	77.8	19	17	9	52.9
大阪大学	78	77	65	84.4	62	62	54	87.1	16	15	11	73.3
岡山大学	69	67	53	79.1	55	53	46	86.8	14	14	7	50.0
広島大学	66	66	45	68.2	47	47	34	72.3	19	19	11	57.9
徳島大学	59	56	37	66.1	49	47	32	68.1	10	9	5	55.6
九州大学	69	68	55	80.9	59	58	48	82.8	10	10	7	70.0
長崎大学	66	66	43	65.2	53	53	35	66.0	13	13	8	61.5
鹿児島大学	75	75	54	72.0	57	57	44	77.2	18	18	10	55.6
国立 計	721	703	538	76.5	562	549	445	81.1	159	154	93	60.4
九州歯科大学	121	121	96	79.3	90	90	77	85.6	31	31	19	61.3
公立 計	121	121	96	79.3	90	90	77	85.6	31	31	19	61.3
北海道医療大学	115	96	53	55.2	63	46	33	71.7	52	50	20	40.0
岩手医科大学	126	94	57	60.6	78	47	36	76.6	48	47	21	44.7
奥羽大学	145	130	40	30.8	44	31	17	54.8	101	99	23	23.2
明海大学	234	157	103	65.6	132	56	52	92.9	102	101	51	50.5
日本大学松戸	157	134	102	76.1	102	82	65	79.3	55	52	37	71.2
東京歯科大学	145	124	113	91.1	135	115	107	93.0	10	9	6	66.7
日本歯科大学	194	163	100	61.3	159	128	80	62.5	35	35	20	57.1
日本大学	173	164	101	61.6	124	115	71	61.7	49	49	30	61.2
昭和大学	131	126	100	79.4	98	94	76	80.9	33	32	24	75.0
鶴見大学	215	132	58	43.9	120	42	25	59.5	95	90	33	36.7
神奈川歯科大学	151	79	59	74.7	124	57	48	84.2	27	22	11	50.0
日本歯科大学新潟	105	78	46	59.0	64	38	28	73.7	41	40	18	45.0
松本歯科大学	165	127	59	46.5	81	46	41	89.1	84	81	18	22.2
愛知学院大学	165	139	99	71.2	121	96	72	75.0	44	43	27	62.8
朝日大学	246	178	87	48.9	142	76	50	65.8	104	102	37	36.3
大阪歯科大学	214	160	118	73.8	134	81	74	91.4	80	79	44	55.7
福岡歯科大学	155	132	50	37.9	82	59	26	44.1	73	73	24	32.9
私立 計	2,836	2,213	1,345	60.8	1,803	1,209	901	74.5	1,033	1,004	444	44.2
認定及び予備試験	13	12	4	33.3	7	7	3	42.9	6	5	1	20.0
その他 計	13	12	4	33.3	7	7	3	42.9	6	5	1	20.0
	3,691	3,049	1,983	65.0	2,462	1,855	1,426	76.9	1,229	1,194	557	46.6

ニュースピックアップ

▼子どもの歯ブラシ事故防げ 喉突き多発、基準策定提言

子どもが歯ブラシをくわえたまま転んで喉を突く事故が後を絶たないとして、東京都の有識者会議は14日、子ども用の歯ブラシを喉に届きにくい構造にする安全基準を定め、対策を強化するよう業界と国に提言する報告書を取りまとめた。

都は、東京消防庁や全国の30医療機関から国民生活センターなどに寄せられた事故情報を分析。その結果、5歳以下が歯ブラシで負傷した事故は昨年2月までの約5年間に330件以上あった。1~3歳が大半を占め、歯ブラシが取れなくなって救急搬送されたケースもあった。

47NEWS 2017年2月14日

<https://this.kiji.is/204064136652146173?c=39546741839462401>

Point of View

◎小さい子どもが歯ブラシをくわえたまま転んで喉を突く事故が後を絶たないようです。こういった情報を歯科に来られた子どもの親によく知らせる必要があります。もし、こういうケースの患者が我々の歯科医院に来院されたら具体的にどうすればよいのか、日頃から対策しておきたいものです。

▼混合介護で討論会 「職員の待遇改善」「高額利用料の恐れ」

政府の規制改革推進会議（議長・大田弘子政策研究大学院大学教授）は21日、介護保険と保険外サービスを組み合わせる「混合介護」をテーマに都内で公開討論会を開いた。事業者側は、多様な介護サービスが提供できれば「介護職員の待遇改善につながる」と主張。厚生労働省は「高齢者が不当に高い利用料を取られる恐れがある」などと慎重姿勢を示し、議論は平行線をたどった。

介護保険のサービスは原則、1割の負担で利用できるが、保険外のサービスと同時・一体的に提供することができない。日本在宅介護協会の担当者は、介護が必要な人とその家族の食事を同時に作ることができない現状などに関し「効率的に介護サービスを運用できずコスト高を招いている」と訴えた。

厚労省は混合介護の解禁について「懸念がある」と表明。悪意のある事業者が不当に高いサービスを提供するなどのリスクを挙げ「利用者保護の観点が必要だ」と強調した。

規制改革会議の民間委員からは、混合介護を実施する事業者が守るべきルールなどを定めたガイドライン（指針）が必要との意見が多く出た。大田議長は「厚労省が具体的にどういう取り組みをするか分からず大変残念だ」と批判したうえで「解決策を得られるよう、会議でこれからも議論していく」と語った。

日本経済新聞 2017年2月21日

http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS21H34_R20C17A2PP8000/

Point of View

◎介護保険でも混合介護の問題があるようです。介護保険と保険外サービスが同時に提供することが出来ないため、利用者のニーズに応えきれないケースがあるようです。混合介護が解禁されるまでにはまだまだ多くの問題があるようです。これをきっかけに医科歯科においても混合診療が解禁の方向へ加速するのでしょうか。今後注目する必要があるでしょう。

▼女 86.99 歳、男 80.75 歳 2015 年の平均寿命確定

2015年の日本人の平均寿命は女性が86.99歳、男性80.75歳と確定したことが1日、厚生労働省が5年ごとに公表している「完全生命表」で分かった。前回調査の10年の平均寿命に比べ、女性は0.69歳、男性は1.20歳それぞれ延びた。

厚労省は毎年、推計人口から計算した簡易生命表を公表。5年に1度実施される国勢調査のデータを反映させ、確定版の「完全生命表」を作成している。

昨年7月公表の簡易生命表で15年の平均寿命は女性87.05歳、男性80.79歳だったが、今回の完全生命表で女性が0.06歳、男性が0.04歳それぞれ低く補正された。

47NEWS 2017年3月1日

<https://this.kiji.is/209561987945825784?c=39546741839462401>

Point of View

◎2015年の日本人の平均寿命が5年前の2010年と比べ、男女ともに延びたようです。これからさらに高齢化社会が進んでいくことでしょう。寿命が延びても健康な状態でなければQOLは向上しません。健康寿命を長くしていくために、口腔内の健康は、より重要な要因であることを世間に広く知らせる必要があります。

▼患者 1 人に 1 億円かかっていた！？…再生医療のコスト、初の調査

iPS細胞（人工多能性幹細胞）などを用いる再生医療の治療コストについて、京都大学 iPS細胞研究所の八代嘉美・特定准教授を中心としたチームが初の実態調査を始めた。

治療に取り組む 10 程度の大学や企業に聞き取り、3 年かけて報告書をまとめる。再生医療は多額の費用がかかる点が懸念されており、実態を明らかにし、今後の研究開発に役立てる。

再生医療は、細胞の培養や加工などで従来の治療より費用や手間がかかる。理化学研究所などが 2014 年に行った iPS細胞による目の難病治療では、患者 1 人に約 1 億円かかった。

コストの詳細なデータはなく、将来、国の保険財政を圧迫しかねないとの指摘もあり、実態把握を求める声が高まっていた。

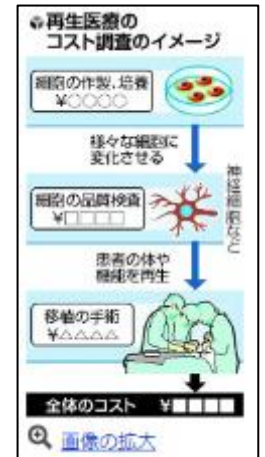
調査は今年 1 月に開始。対象となる大学や企業の担当者らに、治療に使う細胞の培養費や品質検査費、移植手術費など、どんな治療にどれだけの費用がかかるのかを細かく聞き取る。対象は、脊髄損傷の治療準備を進めている慶応大学、食道や歯肉の再生を手がける東京女子医科大学、がんなどの免疫細胞による治療に取り組む京都大学などが含まれている。

日本再生医療学会の会員計約 5600 人へのアンケートも行う。

【再生医療】事故や病気で失ったり、損傷したりした臓器や器官を修復し、機能を再生させる医療。iPS細胞から様々な組織や細胞を作って移植するなどの方法がある。日本の経済成長戦略の柱としても期待されており、国内の市場規模は 2030 年、1 兆円が見込まれている。

yomiDr（2017 年 2 月 10 日）

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170210-OYTET50014/?catname=news-kaietsu_news



Point of View

◎夢の治療法として将来を囑望されている再生医療ですが、現実的にもものすごくコストがかかるとなるとちょっと考えてしまいます。何かもっと低コストの製作法が発見されない限り実用化はまだまだ先のこともありません。

▼のみ込みやすい「嚥下食」、食べる楽しみもう一度 外見も味も一般料理そっくり

加齢や、脳梗塞などの病気が原因で食物をのみ下す嚥下（えんげ）機能に障害のある人のために考案された「嚥下食」が充実してきた。のみ込みやすさに加え、一般の料理と外見も味もそっくりに。患者や家族は「食べる楽しみを取り戻せた」とさらなる進化を期待している。

500万人が障害

「嚥下障害は誰でも起こり得る。超高齢社会を迎えた日本では、今後も患者数は増加するだろう」。東京都内で開かれた嚥下食を推奨するシンポジウムで、言語聴覚士の柴本勇さんが警鐘を鳴らした。嚥下とは、食物を口から咽頭、食道、胃へと運ぶまでの一連のみ込み運動のこと。食物が喉を通ると反射的に筋収縮が起きて声門が閉じ、食物が気管などに入るのを防ぐ。だが、加齢、脳梗塞、喉頭がんなどが引き金となって嚥下機能に障害が出ると、食物が気管や気管支に入って引き起こされる誤嚥性肺炎などになる可能性がある。柴本さんによると、現在、後期高齢者（75歳以上）の30%に当たる500万人が嚥下に障害を持ち、10年後の平成39年には患者数は32%増の660万人に上ると見込んでいる。

QOLを高める

のみ込みを改善し、生活の質（QOL）を高める手段として近年期待されているのが進化した嚥下食だ。ペースト状のミキサー食やきざみ食のレシピに、さらにひと手間加え、外見や味が本物そっくりとなるように再構築したものだ。素材も可能な限り本物と同じものが使われている。栄養食品メーカー「ニュートリー」（三重県四日市市）が28年に募集したオリジナル嚥下食のレシピコンテストには全国の病院、福祉施設、個人から115点のレシピが寄せられた。中でも目を引くのが、エピソード部門で最高賞のレシピ大賞に輝いたロールケーキ「Happy ミニロール Cake Tower!!」。大阪府守口市の主婦、江端左恵子さん（50）が母、真澄さん（74）と協力し、10年前に喉頭がんが嚥下が困難となった父、重夫さん（77）の誕生日を家族で祝おうと考案した。スポンジケーキ、牛乳などをゲル化剤と一緒にミキサーにかけるなどして、カスタードやスポンジムースを作った。左恵子さんは「ピンク色は紫イモ、緑色は抹茶で色付けした。食べてみたいと思えるものを家族で食べ、父も幸せな気持ちになった」と振り返る。

ご当地のもの

コンテストにはご当地のものも登場した。病院や介護施設で実際に入所者に提供されている。盛り付け技術部門の最高賞・レシピ大賞を手にしたのは、介護老人保健施設「サンプラザ長岡」（新潟県長岡市）が考案した「新潟B級グルメ☆タレカツ丼☆」。調理師の水沢慶太さん（33）は「ころもの付いたごっつい肉の外見とは裏腹に、硬さは舌と上顎でつぶせる程度。味もそっくり」と紹介した。また、同部門次点のレシピ賞には、特別養護老人ホーム「とかみ共生苑」（山形市）の「“尾花沢すいか”と“冷たい肉そば”膳」が選ばれ、やはり見た目の酷似が話題に。考案者の一人で調理師の設楽久美子さん（38）は「素材は基本的に本物。山形名物を楽しんでほしかった」と語っている。

産経ニュース 2017年3月3日

<http://www.sankei.com/life/news/170303/lif1703030011-n3.html>

Point of View

◎私の話ですが、年を重ねるにつれ、嚥下力が落ちていることを実感しており、今回、興味深く、この記事を見ました。一昔前までは、嚥下困難な方には、流動食やミキサー食を想像していましたが、今では、これにひと手間加え、外見や味が本物そっくりとなるように再構築した「嚥下食」の需要が高いようです。「食べる」というのは、一つの楽しみです。QOLを改善するには、非常に有用なものとなるかと思えます。

▼「生存率50%超」を7割知らず 内閣府「がん対策に関する世論調査」

がんの治療成績は向上し生存率は上がっている。また高齢化の進展とともにがんの発症は増え、2人に1人程度が一生の間にかんにかかるといわれている。ただ、こうした知識は一般に普及しているとはいえないことが、内閣府が昨年11月に実施した「がん対策に関する世論調査」で明らかになった。

全国の18歳以上の3000人が対象。1800人余りが面接調査に答えた。

がん治療の種類や、たばこの有害性、若い世代でもがんが増えているなどの知識がある人は60%を超えていた。しかし、がん全体の5年生存率（がんと診断された人が5年後に生存している確率）が50%を超えていることを知っていたのは29.5%にとどまった。がんは短命とのイメージは根強いようだ。年代別に見ると、知っている人の割合が最も高いのは60代で39.3%。最も少ないのは18～29歳で15.3%。30代（21.4%）、40代（20.8%）も認知度が低かった。実情は、国立がん研究センターが平成18～20年にがんと診断された約64万人のデータを分析した結果によると、がん以外の死亡の影響を除いた5年生存率は62.1%。今後さらに改善が見込まれている。国民の3人に1人程度ががんで死亡していることは43.4%が知っていた。一方で、2人に1人程度がかかる身近な病気であることを知っていたのは31.3%。これも年代別に回答に差があり、60代の認知度が40.3%と最も高く50代（34.2%）、70歳以上（32.3%）が続くが、18～29歳は20.8%、30代は21.9%と、若い世代の認知度の低さが目立った。

産経ニュース 2017年3月7日

<http://www.sankei.com/life/news/170307/lif1703070024-n2.html>

Point of View

◎ちなみに私は、がん全体の5年生存率が50%を超えていることを知りませんでした。「がんの完治」は、まだまだ先の話になりそうですが、がん＝短命ではなくなってきたという事に、医療の進歩が示されているのかと思えます。話は変わりますが、カープの赤松選手の復帰、心から待っています!!

▼実は、ぜんそくでない可能性も?!

ぜんそく患者の再評価で分かったこと：カナダからの報告

激しい咳や呼吸困難に悩まされるぜんそくは、近年の治療薬の進歩により以前よりコントロールが可能になり、重症喘息は減少してきたといわれているが、大人では子どもに比較して慢性化、重症化しやすい。厚生労働省患者調査（平成26年）によれば、日本のぜんそく患者はおよそ117万人、そのうちの約65%が大人のぜんそく患者だという。この大人のぜんそく患者について一ぜんそくと診断された成人のうち3分の1がその後の診断でぜんそくが否定されたとカナダのグループが医学誌（2017；317：269-279）に発表した。

再評価の3分の1が「ぜんそくでない」と判定

同グループは2012～16年に登録され過去5年以内にカナダ国内の10都市で医師によりぜんそくと診断され、研究への参加を承諾した701人を対象に再評価が行われた。

すべての参加者は、ピークフローおよび症状モニタリング、肺活量測定、連続的な気管支ぜんそくテストで評価され、毎日のぜんそく薬を使用していた参加者は、4回の訪問を経て徐々に薬剤を減少させた。

再評価はぜんそく治療薬中止後また呼吸器専門医による他疾患の診断後に、ぜんそく症状の急性増悪や可逆



性気道閉塞、気管支過敏性などを測定した。

この過程を全て完了した 613 人でぜんそくを再評価した結果、203 人がぜんそくでないと判定され、12 人は重度の心肺疾患で、初期診断でぜんそくと誤診されていた。

さらに、1 年後には 181 人が喘息ではないと判定された。ぜんそくではないと判定された人は、ぜんそくだと判定された人に比べて初期診断で呼吸機能検査やピークフロー測定などの検査の施行率が低い傾向 (43.8% vs. 55.6%) がみられたという。

(あなたの健康百科編集部)

メディカルトリビューン (2017 年 02 月 27 日)

<http://kenko100.jp/articles/170227004255/#gsc.tab=0>

Point of View

◎再評価を受けた人のうち 3 分の 1 が「喘息でない」と判定されたとは意外です。中には重度の心配疾患で初期診断で「ぜんそく」と誤診されていたケースがあったようで、大事に至らなかったのは不幸中の幸いと言えるでしょう。

症状から診断が難しいものに「非菌原性疼痛」というのがあることはご存知かと思います。復習の意味を込めて掲載します。

関連記事

「歯には原因がない歯痛って？」 毎日新聞 (2017 年 2 月 13 日)

<http://mainichi.jp/premier/health/articles/20170210/med/00m/010/010000c>

▼地中海食でコレステロール回収機能が UP

スペインからの報告

オリーブオイルをふんだんに使い、肉よりも魚料理や野菜、豆類、果物などを豊富に摂るイタリア・スペイン・ギリシアなどの地中海沿岸諸国の料理。イギリスやドイツ、北欧などに比べて、狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患が少ないことから、1975 年に米国のアンセル・キーズ博士が「南イタリア料理の素晴らしさ」を発表したことにより地中海食に注目が集まるようになった。この地中海食の効果についてさらに喜ばしい効果が一地中海食が心血管疾患 (CVD) リスクが高い人の善玉コレステロールといわれる高密度リポ蛋白 (HDL) の機能を改善することが確認されたとスペインの研究グループが医学誌「Circulation」(2017 年 2 月 13 日オンライン版) に発表した。

実験開始 1 年後の HDL 機能を評価

HDL は、末梢組織から過剰なコレステロールを回収し、肝臓に運ぶコレステロール逆転送の作用があり、抗動脈硬化に働くと考えられている。しかし、最近の研究で、CVD 高リスクの人は、この HDL がうまく機能しないこと、HDL の量と同様に機能の重要性が指摘されている。

同グループは、CVD 高リスクの 296 人を抽出。伝統的な地中海食 (野菜、果物、豆類、全粒粉を多く、魚と鶏肉を適量) に、バージンオリーブ油 (大さじ 4 杯、約 60cc/日) またはナッツ (一つかみ、約 30g/日) の摂取を強化した、地中海食+オリーブ油グループ、地中海食+ナッツグループ各 100 例と対照の低脂肪食グループ 96 人を比較した。

HDL 機能は、コレステロール逆輸送系、HDL 抗酸化作用および HDL 血管拡張能について検討した。

コレステロール代謝や抗酸化能が改善

対象は、平均年齢は約 66 歳、男性が 50%前後、環境や個人因子については 3 グループ間で有意差がなかった。

調査を開始して 1 年後、3 グループともに HDL に含まれるコレステロール (HDL-C) 値の有意な変化はなかった。解析の結果、コレステロール回収能は、オリーブ油グループ、ナッツグループともに、それぞれ開始時点よりも増加していた。

オリーブ油グループでは、その他にもコレステロール代謝、抗酸化作用、血管拡張機能の増加なども見られた。

HDL の中性脂肪含有量は、オリーブ油グループ、ナッツグループでともに有意に減少した。

同グループは「地中海食は、HDL の酸化状態、組成および粒子径を改善することで HDL 機能を改善した。その作用機序や心保護効果について、今後の研究で検証する必要がある」としている。

また、この論文について米国ペンシルベニア大学のダニエル・ラダーズ氏は「低脂肪食に比べて、地中海食は HDL-C 値への影響は小さいが、コレステロール回収能の促進効果が大きかった。今回、地中海食が、HDL 機能を改善する実践的なアプローチであり、CVD リスクを軽減させる可能性が示された。HDL のコレステロール回収促進と地中海食の有益性との因果関係は、今後検証されねばならない」とコメントを出した。

(あなたの健康百科編集部)

メディカルトリビューン (2017 年 03 月 02 日)

<http://kenko100.jp/articles/170302004256/#gsc.tab=0>



Point of View

◎世界各国から和食が健康食として注目されていますが、食生活からどうしても切れないのが洋食ではないでしょうか。この避けようのないメニューから少しでも危険因子を取り除くにはこの記事のような工夫が必要なのでしょう。

▼インフル異常行動に注意呼びかけ 「リレンザ」吸入の中学生転落死で

インフルエンザ治療薬「リレンザ」を吸入した中学生が転落死したことを受け、医薬品医療機器総合機構（PMDA）は16日、医薬品服用の有無にかかわらず、インフル発症から2日間は小児や未成年者を一人にしないよう注意を呼びかけた。インフル治療薬をめぐっては、タミフル服用後の異常行動が報告されたことから厚生労働省が調査。薬を服用しなくても異常行動が起きることや、解熱剤などでも異常行動が起きることが報告されている。

そのため厚労省は、インフルのため自宅療養する小児や未成年者を一人にしないよう昨年11月に注意喚起。PMDAはこの通知を徹底するよう改めて呼びかけた。

産経ニュース 2017年2月17日

<http://www.sankei.com/life/news/170216/lif1702160028-n1.html>

Point of View

◎インフルエンザ治療薬「タミフル」においては、過去にも服用した小児が異常行動を起こした報告がされていましたが、この度「リレンザ」においても、同様の報告がありました。自宅療養中でも、部屋が別になっていると、保護者が、子供の異常行動に気づかないケースもあるとのことですので、とにかく注意深く見守る必要があります。副作用が少ない新薬の開発を期待したいですね。

▼定年まで仕事を続けるべきか？

女性はキャリアを一時中断した方が長期的に健康

最近、出かけるのが億劫になった、疲れやすくなった……人間は年を取ると誰でもどうしても身体に異変を感じたり、若い頃とちがう自分の体に気がついたりする。老化は自然なことでは仕方ないことだが、老化とは違う「フレイル」をご存じだろうか？ 生活に支障のない老化なら問題ないが、フレイルというのは加齢で筋力や活力が低下し活動力が落ちる状態で放置すると、要介護につながる、健康と病気の間のような段階だという。このたび、働き方によってフレイルになるリスクに差が出ると英国の研究グループが医学誌オンライン版に発表した。

男性も65歳まで仕事をし続けるのが健康とは言えない

同グループは、英国で2002年からおよそ50年間続けられる予定の高齢者を対象とした大規模調査の参加者の中から女性2,765人と男性1,621人を抽出した。

調査は看護師がそれぞれの家を訪ねて面接と自己評価票の作成により行われた。2004～2013年の間におよそ6回の訪問が行われ、これまでの人生や雇用先、子ども、自分の子どもの頃の話や健康状態などについても聞き取りをおこなった。就職状況、退職年齢とフレイルについて検討した。

フレイル指数については、日常生活、認知傾向、慢性疾患、うつの状況、心血管疾患、転倒・骨折、関節置換など幅広い領域についてのおよそ60の項目について調査し、算出された。

その結果、女性の場合、フルタイムで仕事し続けた人より、育児や介護など家族のために仕事を一時中断し、その後、59歳までパートタイムの仕事した人は60歳以後のフレイル指数が低く、専業主婦や仕事をしなかった人は、60歳の時点でのフレイル指数がかなり高いが、年齢とともに下がっていく特性があったという。

また、男性の場合、フルタイムの仕事を49歳もしくは60歳で早く退職した人は、65歳までフルタイムで働いた人よりも、65歳の時点でフレイル指数が高くなったが、その後はゆっくりと減速していく傾向があった。

一方で、男性は60～65歳までに仕事を辞める方がその後、フレイル指数を減速させるのに有利に思われ、退職の年齢までフルタイムの仕事を継続することは、長期的にみて健康に良いとは言えないという結果になった。

(あなたの健康百科編集部)

メディカルトリビューン (2017年03月01日)

<http://kenko100.jp/articles/170301004253/#gsc.tab=0>



Point of View

◎「フレイル」ということば…ご存知でしたか。敢えて置き換えるなら、テレビCMで言っていた「未病」に該当するのかもしれませんが。年齢に合わせて仕事を辞めることができればよいそうですが、我々歯科医にとってそれは無理というもの。でも、何歳まで働くのかは自分の判断で決めなければならないようですね。

▼世界の鬱病患者3億人 「早急な対策必要」とWHO

世界保健機関（WHO）は23日、世界で鬱病に苦しむ人が2015年に推計3億2200万人に上ったと発表した。全人口の約4%に当たり、05年から約18%増加した。世界的に一般的な精神疾患になりつつあり、若年層の自殺増にもつながっているとして、早急な対策が必要だと指摘した。地域別ではインド、中国を抱えるアジア・太平洋地域で全体の約48%を占め、日本は約506万人。厚生労働省によると、鬱病など気分障害で医療機関を受診している人は約112万人（14年）だが、WHOの統計は専門家による推計値のため、医師にうつ病と診断された人以外も含んでいる。鬱病は男性より女性に多くみられる。年齢別では55～74歳の発症率が高い。15歳未満の子どもも発症している。15年の世界の全自殺者は推計78万8千人で、死者全体の約1・5%を占め、特に15～29歳の若年層の死因で2番目となっている。

産経ニュース 2017年2月25日

<http://www.sankei.com/life/news/170224/lif1702240028-n1.html>

Point of View

◎日本においても、うつ病についての報告は多数あり、対策が検討されていますが、世界的にみても、うつ病は一般的な精神疾患になっているという事です。うつ病は自殺につながるケースも多々あるとされており、対策が急務となっていますが、完治はなかなか難しいようです。薬も必要かもしれませんが、心のサポートが必要な疾患かとも思われます。

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から



4月5日放送分

「番組をリニューアル」

広島市歯科医師会 広報部

毎週月曜日午前8時40分からお届けしていた「お口の健康広場デンタルパーク」がリニューアルし、第1・3水曜日午後0時50分からの番組となりました。歯科医師会の役割や広島市東区へ移転、入居した広島県歯科医師会館などに関する話題を取り上げ、広島市歯科医師会が皆さまの疑問にお答えします。メールは dentalpark@chupea.fm へ。

4月19日放送分

「広島市歯科医師会とは？」

広島市歯科医師会 川原正照会長

歯科医師会とは、皆さま耳にされたことはあると思いますが、どのような会なのか、何をしているかを紹介いたします。皆さまのお口の健康には欠かせない会です。その、歯科医師会について、広島市歯科医師会の川原正照会長にお話いたします。

3月定例理事会報告

「部外報告」

2月23日 新規個別指導に係る立会
2月25日 国保組合会・互助会総代会
3月3日 再審査
3月4日 (県)第139回臨時代議員会
3月6日 広島市医療安全推進協議会
3月7日 平成28年度第2回歯周病予防

普及啓発事業実行委員会

3月9-10日 第184回日歯臨時代議員会
3月11日 広島デンタルアカデミー
専門学校卒業式
3月13日 広島大学病院歯科領域卒後
臨床研修管理委員会
3月16日 元気じゃけん広島21(第2次)

推進会議全体会議
 3月17日 IGL 医療福祉専門学校卒業式
 3月17日 学校保健会第3回理事会
 2月23-27日 社保診療報酬審査
 (合議27日)

「総務関係」

2月23日 慰労会
 2月24日 創立100周年記念事業準備委員会
 第2回会誌編纂委員会
 2月27日 県歯代議員会議事運営協議会
 2月28日 広島市歯科医師会救急蘇生委員会
 3月1日 司法書士との打合せ
 3月4日 B型肝炎抗体検査
 3月14日 休日診療に関する協議
 3月15日 本会会計中間報告(合同総研)
 3月15日 三役会
 3月16日 職員面談
 3月22日 職員採用面接
 3月22日 定例理事会

(慶弔関係)

2月22日 西区支部 今井多聞先生
 ご母堂様ご逝去
 2月24日 西区支部 尾山久雄先生
 ご逝去
 3月5日 東区支部 野村浩先生ご逝去

(入会退会関係)

2月27日 中区支部 入会説明会
 (川本賀奈子先生)

(県歯理事会関係)

3月2日 県歯理事会

(1) 総務部 (本山理事)

2月23日 職員慰労会
 2月27日 中区支部説明会
 2月28日 広島市歯科医師会救急蘇生委員会
 3月4日 (県)第139回臨時代議員会
 3月6日 広島市医療安全推進協議会
 (市役所)
 3月7日 警察歯科小委員会 予演会
 3月9日 総務部・学術部合同委員会
 3月12日 国際歯科学士会日本支部
 冬季学会
 3月14日 総務部小委員会
 3月17日 警察歯科小委員会

(2) 学術部 (蜂須賀理事)

3月9日 総務部・学術部合同委員会

(3) 保険・医療対策部 (瓜生理事)

2月23日 新規個別指導
 2月25日 歯科医師国保組合総代会
 互助会組合会
 3月4日 (県)第139回臨時代議員会
 3月9日 (県)広島県歯科審査連絡協議会
 (県)保険部常任委員会
 //
 3月14日 口腔保健センター休日診療
 運営協議
 3月15日 定例委員会
 3月16日 (県)保険部懇話会
 3月18日 国保連合会歯科再審査部会
 3月19-23日 国保連合会歯科審査部会

(4) 地域歯科保健部

2月23日 慰労会
 3月4日 広島市歯科医師等認知症対応
 力向上事業第3回研修会①
 (グループホーム舟入)
 3月8日 (県)地域保健部、学校保健部、
 介護・福祉医療部、口腔保健
 センター部常任委員会
 3月11日 広島市歯科医師等認知症対応
 力向上事業第3回研修会②
 (グループホームこうご)
 3月14日 (県)平成28年度広島県地域医療
 介護総合確保事業第2回在宅
 歯科医療推進研修会
 (県歯会ハーモニーホール)

3月16日 定例委員会

<学校保健> (有馬理事)

2月23日 新任学校歯科医研修会
 2月28日 (県)平成28年度広島県歯科
 衛生連絡協議会第2回学校歯科
 保健推進体制・整備検討会議
 //
 (南区地对協)平成28年度第2回
 広島市南区在宅医療・介護連携
 推進委員会
 3月2日 (南区地对協)第3回多職種
 チームで考える在宅ケア
 サポート研修会
 3月5日 (県)平成28年度広島県地域医療
 介護総合確保事業広島口腔保健
 センターにおける教育・研修機能
 整備事業 広島県歯科保健医療
 サービス提供困難者
 相談医養成研修会3日目
 3月9日 アンジュヴィオレ広島歯科健診
 //
 3月14日 新任嘱託学校歯科医研修会
 平成28年度第2回広島市南区
 地域包括支援センター運営協

議会
 3月17日 広島市学校保健会平成28年度第3回理事会
 3月21日 平成28年度第2回広島市食育推進会議
 ・私立高等学校へのミラー供給について
 ・学校歯科医協議会について
 ・平成29年度定期健康診断について
 ・治療券の様式変更について
 ・6年生へのアンケートについて
 ・全国小学生歯みがき大会について
 ・四者協議会について
<地域連携> (小松理事)
 2月23日 中区第4合議体介護認定審査会
 2月25日 (中区地対協)第6回江波圏域多職種連携会議
 2月27日 穴吹キャリアアップスクール事前ヒアリング(みこころの家)
 2月28日 休日診療レセプト点検
 3月2日 中区第4合議体介護認定審査会
 3月3日 ウェルビィ江波支配人との協議
 3月6日 ベストライフ(吉島有料老人ホーム)との協議(協力歯科医師について)
 " 平成28年度悠悠タウン江波歯科医連絡会
 3月7日 (県)県商工労働局との事業打合せ(後期高齢者医療広域連合との連携における舌圧測定を活用したトレーニングの検討)
 3月9日 平成28年度第3回広島市地域包括支援センター運営協議会
 " 平成28年度第4回広島市地域密着型サービス運営懇談会
 " 健康長寿課との協議(短期集中口腔ケアサービスについて)
 " 中区第4合議体介護認定審査会
 3月10日 (県)平成28年度広島県地域医療介護総合確保事業第2回在宅歯科医療推進研修会事前打合せ
 3月14日 (中区地対協)幟町圏域多職種連携会議第1回小委員会
 3月16日 中区第4合議体介護認定審査会
 3月17日 (中区地対協)平成29年度中区地域包括ケア推進フォーラム打合せ
 " (中区地対協)第6回国泰寺圏域多職種連携会議
<地域保健> (能美理事)

3月7日 歯周病予防普及啓発事業実行委員会
 3月14日 口腔保健センター休日診療運営協議
 3月15日 (県)第2回簡易唾液検査による歯周病検査の普及促進会議打合せ
 3月17日 平成28年度広島市学校保健会第3回理事会
 " (東区地対協)第4回常任理事会・理事会
 " (東区地対協)第2回在宅医療・介護連携推進委員会
 3月22日 (県)平成28年度広島県歯科衛生連絡協議会第2回職域における歯科保健推進会議福祉対策協議会実績状況

(5) 広報部 (橋岡理事)

2月24日 100周年記念誌編纂委員会
 2月28日 FMちゅーピーとの協議
 " FMちゅーピー収録安芸歯会(広瀬佐都子氏・荒槇信雄氏・久保和雄氏・宮本和儀氏)
 3月2日 FMちゅーピーとの協議
 3月3日 委員会・太田川編集委員会
 3月6日 FMちゅーピーとの協議
 3月10日 委員会(情報発信部)
 3月13日 委員会(情報調査部)・太田川編集委員会
 FMちゅーピー(新聞掲載)
 3月6日 「骨粗しょう症と歯科治療」広瀬佐都子氏(安芸歯会)
 3月13日 「いびきと睡眠時無呼吸症候群」荒槇信雄氏(安芸歯会)
 3月20日 「誤嚥性肺炎について」久保和雄氏(安芸歯会)
 3月27日 「ドライマウスについて」宮本和儀氏(安芸歯会)

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者1,105(累計31,407)
 ページビュー4,873(累計149,231)
 会員サイト 訪問者234(累計17,603)
 ページビュー914(累計172,857)
 広報部…Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 61件(2/21~3/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

2月28日 広島市歯科医師会救急蘇生委員会

(9) 会館移転関係

3月9日 原爆慰霊碑敷地所有権移転
登記完了

(10) 創立100周年記念事業について

2月24日 創立100周年記念事業準備委員会
第2回会誌編纂委員会

(11) 各部事業計画について

平成29年度各部事業計画

(12) 歯科医療安全相談

2月27日 相談 乱暴な外国人女性につ
いて(会員)

3月10日 苦情 審美歯科の対応
について(30歳代女性)

「協議事項」

(1) 会費について(8名)

終身会員資格取得による会費額変更
1名、開設者変更に伴う終身会費額変更
1名、病氣療養等による会費額減免申請
5名、診療形態変更による会費額減免申
請1名について承認。
ついて承認

(2) 入会について(1名)

中区支部の川本賀奈子先生の入会につ
いて承認確認

(3) 学術講演会について
講演内容について協議

(4) WebMagicについて
活用内容について協議

(5) 本会会員を対象とするアンケート調査
について
内容について協議

(6) 新しい節目年齢歯科健診票について
変更内容について協議

(7) 「歯の優秀校並びに優秀児童の表彰規程」
について
内容について確認

(8) 太田川の送付先について
発送先について協議

(9) 支部への交通費支給について
内容について検討・協議

(10) 会館関連資金の引当について事業等につ
いて
内容について検討・協議

(11) 事務職員の業務分担について
内容について確認

(12) 平成29年度事業計画について
内容について検討・協議

(13) 平成29年度予算について
内容について検討・協議

(14) その他
特になし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当
部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、
広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事橋岡優までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 橋岡優 E-Mail: s.d.c@helen.ocn.ne.jp

広島市歯科医師会ホームページ <http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ PASS : 2442662

新会館の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

